

師走、一年納めの月となりました。日暮れも早く、冬本番の気配が感じられる季節となりました。年暮れになると、各家々では「煤払い」をして、お正月を迎える準備を始めます（元々は十三日に行ったものです）。  
神棚・仏壇を清め、神棚に新しい稲藁で作った「しめ縄」を張り、新米でお餅をついて「お供え」を作り、青々とした松竹で作った「門松」を立てて「歳神様」を迎えるための準備をします。  
「歳神様」の「とし」とは、「稲」を意味し、豊かさや恵み・生命の象徴です。ですから古来・日本では、お正月になると「歳神様から新しい命をいただき、一歳年をとる」という「数え年」という年齢の数え方をしてきました。今日でも、私たち日本人は、成長過程の節目ごとに充実した人生が送れるよう、神様に感謝と祈りを捧げ、常に神様との御縁を持ち続けてきている証です。  
清々しい家、清々しい心で歳神様（新年）を迎え、初詣をしたいものです。

## 今月の行事

### お正月様頒布始め　　中旬

六日　　いいおか幼稚園 遊戯会

七日　　大雪

一二日　塙・皇産霊神社 例祭（初卯）

二二日　冬至

二四日　いいおか幼稚園 終業式

三一日　年越の大祓（二八時）

一月一日　元日　正月祈念（御祈祷）

二日以降は　　〇時～一時　七時～一六時  
八時～一六時

新年の初詣は、各種感染症の感染予防のため、対面する際にはマスク着用の上、「密」にならぬよう、気をつけてお参り下さい。

令和八年の節分は二月三日です。古新札等のお焚き上げは行いません。玉崎神社から頒布された神札・お守りは、正月三が日に社務所へお持ち下さい。

